



ぐんぐん すくすく！相生っ子！

住所 相生市緑ヶ丘4丁目5-5

電話 0791-23-5070 FAX 0791-22-7211

E-mail ikusei-aioi@bz03.plala.or.jp

◆『ひと言プラスして挨拶』の勧め

平成26年にスタートした「相生市さわやかあいさつ運動」も開始から丸10年を経過しました。そこで、一歩進んだ挨拶をお勧めします。

挨拶をただの声かけに終わらせず、コミュニケーションのきっかけに変えるには、挨拶にひと言だけ付け加えるのが効果的です。もちろん「おはよう」だけでもOKなのですが、そこで短くとも言葉を交わすことでより円滑にコミュニケーションが取れるようになります。

■その日の気候・気温はお互いに共感しやすい共通の話題です。

➡「おはようございます！ **今日は暑く(寒く)なりそうですね。**」

「おはよう！ **午後から雨みたいだけど、傘持ってる？**」(相手の子どもに向けて)

■出会い頭で外見や装飾品などの気付きがあれば、ひと言プラスしても相手は不快には感じません。

➡「おはようございます！ **髪切りました？雰囲気が変わって素敵ですね！**」

「おはよう！ **今日も元気だね。カッコイイ靴だね！**」(相手の子どもに向けて)

■マスクをしていたり、咳こんでいたり、何かいつもと違う動きがある場合はひと言声を掛けてあげましょう。「無理しないでくださいね」という相手を気遣う言葉も忘れずに。

➡「おはようございます！ **お忙しくされているようですが、体調はいかがですか？**」

「おはよう！ **昨日休んでいたみたいだけど、体調は大丈夫？**」(相手の子どもに向けて)

■感謝の気持ちを伝えたり、相手にとってタイムリーな話題は喜ばれます。

➡「おはようございます！ **昨日は大変助かりました、ありがとうございました。**」

「おはよう！ **昨日〇〇に行くと言ってたけど、どうだった？**」(相手の子どもに向けて)

この『ひと言プラスして挨拶』は、子どもたちに声を掛ける時にも大変有効です。

◆教育支援センターでの教育相談について

●育成支援室

『地域ぐるみで育てる相生っ子』

～声かけよう うちの子

よその子 みんなの子～

学校のこと、家でのこと、友だちのこと、困ったことや心配なことなど、一人で悩んでいないで何でもお気軽にご相談ください。

場 所	相生市教育支援センター (こども学習センター内)
日 時	【電話相談】 毎週 月曜日～金曜日 10時～16時 【来所相談】 毎週 火曜日～金曜日 13時～16時 【臨床心理士による悩み相談】 第2・第4金曜日(要予約)
対象者	小・中・高校生及びその家族
電 話	23-5070

●コスモス教室

何らかの原因で、学校に行きにくい、または行けない子どもたちやその保護者やご家族を対象に、教育相談活動を行っています。

教室においては、教科学習、体験活動、スポーツ、読書、ゲームなど、子どもたちの要望や実態に合わせて取り組んでいます。

在籍している小・中学校に相談の上、お気軽にご利用ください。

場 所	相生市教育支援センター (こども学習センター内)
日 時	【電話相談】 平日 9時～15時 【来所相談】 電話で日時の予約をしてください。
対象者	小・中学生及び保護者
電 話	24-2118

掃除の心

掃除の心をちゃんと持っている子、掃除に心を入れてできる子は、中学に行っても、世の中に出てても、絶対にまちがいない。

ゴミ・アカ・よごれ

ゴミ・アカ・よごれというものは今きれいにしたと思ってるのにもうちゃんとできているゆだんのならないものだ
ゴミ・アカ・よごれというものは心の中にもある
全く全く油断がならない

清書(運動会)

六年生のみんなたちが軸になって
ゴミのない体育祭を築いたことを
どうか 一生 忘れられるな
だが みんなたちよ
きよの体育会は立派であったが、
清書は
あすからのみんなのくらしだ
あすからの学校での 勉強
家でのくらしの がんばり
学校の行き帰りの在り方
それが清書になるんだということを
どうか 忘れてくれるな

【とおい・よしお】「いのちの教育」の探求に尽くした日本の教育者。兵庫県豊岡市但東町佐々木に生まれる。小学校教師として村を育てる教育を実践。ベスタロッヂ賞、平和文化賞、小砂丘忠義賞、文部省教育功労賞受賞。



◆能登半島地震における石川県七尾市への災害支援ボランティアに参加してきました。



私は「仮置き場」への配置を希望し、全国各地から来た 24 人と一緒に作業にあたりました。全員が、ヘルメット、ゴーグル、防塵マスク、安全長靴、皮手袋の完全防備で、顔も全く分からない中での約 5 時間の作業でした。全員が初対面のメンバーですが、声かけ合い、手伝い合い、チームワークと一体感を感じられた 5 時間でした。心地よい疲れと人と人のつながりの大切さを実感することができました。ありがとうございました。



拍手ができる子は伸びる。

拍手は「相手を認める心」を表す。

相手の姿勢、がんばり、良いところ。

これを心から認められる子の

拍手は温かい。

拍手にその子の想いが乗り、

運ばれてくる。

言葉がなくても

それはしっかりと伝わる。

拍手は「認める心」を表す。

劣等感を抱いている子は

拍手ができない。

自分を中心にして物事を見れない子の拍手は重い。

拍手ができる子は伸びる。

相手の喜びを自分の喜びのように

感じられる。

相手を認めて、心から賞賛を送ることができる。

それが巡り巡って

その子のもとに返ってくる。

だから自然にその子は伸びていく。

拍手は「相手を認める」練習。

